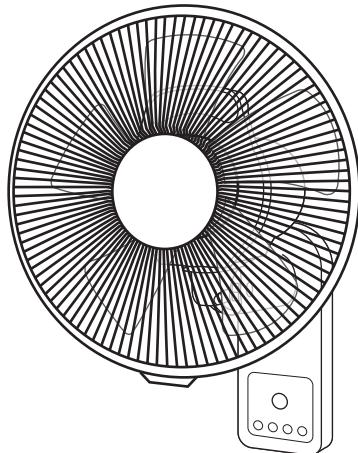


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。  
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

# 壁掛け扇風機 YWX-AFD30



## もくじ

- 安全上のご注意 ..... ①～②
- 各部の名称 ..... ③
- 準備 ..... ④
- 使いかた ..... ⑤～⑦
- お手入れ ..... ⑧～⑨
- 故障かな?と思ったら ..... ⑩
- 長期使用製品についてのご注意 ..... ⑪
- 仕様 ..... ⑫
- アフターサービスについて ..... ⑬
- 保証書 ..... 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社壁掛け扇風機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ  
**YAMAZEN BOOK** を  
チェック!



随時情報を更新中!

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



## 警告

誤った取り扱いをしたときには死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



## 注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

### 図記号の説明



禁止(してはいけないこと)を示します。  
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示する行為の強制(必ずすること)を示します。  
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意を示します。  
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

## 警告



### 分解・修理・改造をしない

分解禁止

火災・感電の原因になります。修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引つ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



### 電源は交流100Vを使用し、配線器具の定格をこえない

交流100V

感電・発火の原因となります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない  
感電・ショート・発火の原因になります。



### 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。



### 使い終わったら、必ず電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く

長期間差し込んだままにしますと、ホコリなどが堆積することによって漏電・火災の原因になります。



異常時(焦げくさいなど)は運転をやめて電源プラグをコンセントから抜く  
発熱などで火災・関電の原因になります。

プラグを抜く

お買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



### ガスレンジなど炎の近くや引火性ガスのあるところで使わない

炎の立ち消え、引火して火災の原因になります。



### 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

## ⚠ 警告



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグの汚れやホコリは定期的に乾いた布でふき取る

湿気などで絶縁不良となり。火災の原因になります。



本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない

感電の原因になります。



羽根・ガードをつけずに運転しない

けがの原因になります。

## ⚠ 注意



風を長時間、身体に当てない

健康を害することがあります。



ガードの中や可動部に指などを入れない

けがの原因になります。



電源プラグを抜くときは、プラグを持って引き抜く

プラグを持つ

感電・故障・発火の原因となります。



丈夫で垂直な壁、または柱に取り付ける

落下して、けがの原因になります。



本体にぶら下がったり、衣類などを引っ掛けたりしない

落下したり、衣類などが巻き込まれてけがの原因になります。



殺虫剤・芳香剤などをかけたり、油煙や薬品を使う場所で使用しない

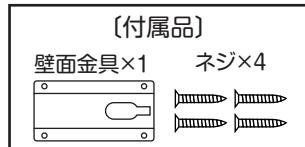
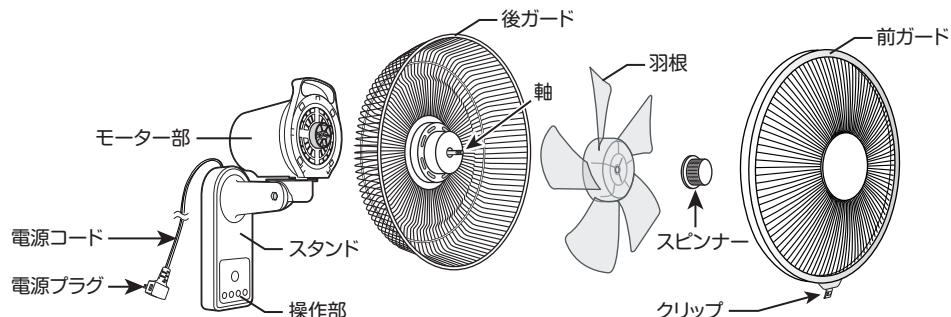
樹脂部品が劣化し、本体破損の原因になります。



カーテンなどを吸い込む場所で使わない

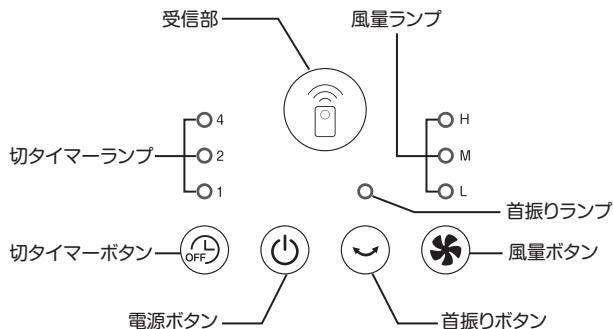
故障・けがの原因になります。

# 各部の名称

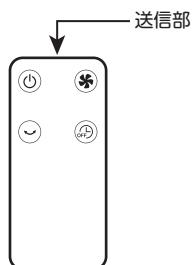


**ボタンの操作**  
本体の操作ボタンは、タッチセンサー式です。  
スイッチを指先全体でしっかりと触れてください。  
触れる面積が小さいときは、反応しないことがあります。

## 操作部



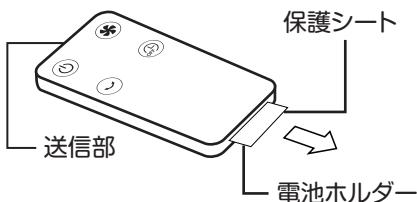
## リモコン



# 準備

## リモコンの準備

電池の保護シートを引き抜いてください。

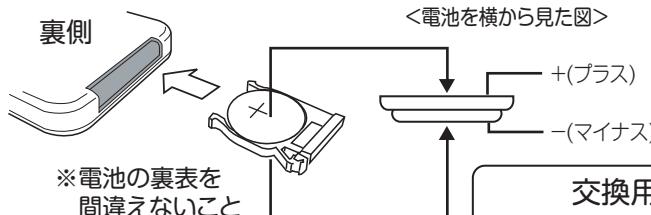


## ご注意

本製品に最初から付属している電池はテスト用のため、新しい電池に比べて寿命が短い場合があります。リモコンが動作しにくくなった場合は新しい電池と取り換えてください。

## 電池の交換方法

- ①ツメ部分を矢印方向に押さえながら電池ホルダーを引き抜きます。
  - ②新しい電池を正しい向きに電池ホルダーにセットし、リモコン本体に差し込みます。
- ※リモコンを裏向きにした状態



**交換用電池について**  
電池が消耗しましたら、市販のボタン電池CR2025をお買い求めください。

- 次のような所では、リモコン操作ができないことがあります。

- ・本体受信部とリモコンの間に障害物がある所。
- ・インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用している所。
- ・本体受信部に直射日光などの強い光が当たる所。

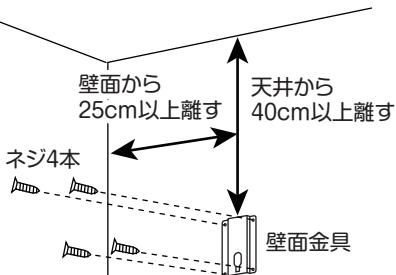
お願  
い

- 電池が消耗すると、リモコン操作ができる範囲が狭くなります。  
その際は電池を交換してください。
- リモコン送信部に傷を付けないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐためにリモコンから電池を取り出してください。
- 乳幼児の手の届く所にリモコンを置かないでください。  
電池の誤飲を招くおそれがあります。

# 使いかた

## 【本体の取り付け】

### 1.壁面金具を取り付ける



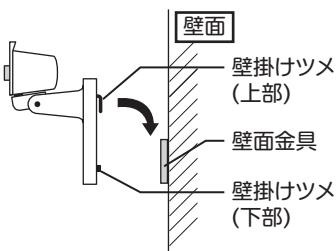
壁面に壁面金具をネジでしっかりと固定してください。

※壁面の下地が厚さ1cm以上の強度のある垂直な場所を選んでください。

※薄い合板や石膏ボードなど強度のない壁、金属製の壁には取り付けないでください。

※斜めの壁や天井に取り付けないでください。

### 2.スタンドを取り付ける



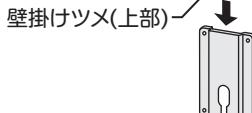
本体裏側の壁掛けツメを、壁面金具に差し込んでください。

※取り付け後は、確実に差し込まれているかを必ずご確認ください。

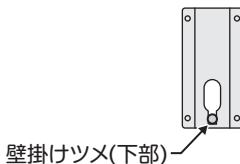
※取り付け後は、本体にぶつかったりして本体が落下しないよう、ご注意ください。

※電源コードを本体と壁面の間にはさまないようにしてください。

壁掛けツメ(上部)を、  
壁面金具の上から差し込む。



壁掛けツメ(下部)を、  
壁面金具の穴の下まで差し込む。



壁掛けツメ(下部)

壁掛けツメ(上部)

↓

壁面金具

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

↑

↓

# 使いかた

## 3.ガード部を取り付ける



ガード部を右に回して、モーター部に取り付けてください。

※ガード部が力ちつと固定されるところまで、しっかりと回してください。

※取り付け後、確実に取り付けられているかを必ずご確認ください。

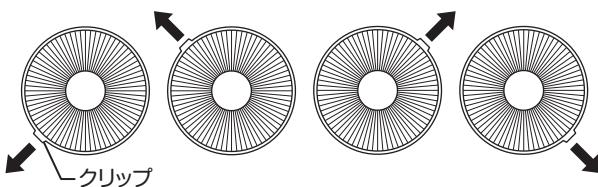
※固定した後のクリップ位置は、どの位置でもご使用に支障はありません。

### ⚠ 警告

●羽根・ガードをつけずに運転しない

●組み立て時に電源プラグをコンセントに差し込まない  
けの原因になります。

ガード部は4方向に取り付け位置があります。



**【操作方法】**本体操作部分での操作を説明しています。リモコンでも同様の操作ができます。

### 1.電源プラグをコンセントに差し込む

奥までしっかりと差し込んでください。



### 2.運転する



(例)風量「L」設定

電源ボタンに触ると風量ランプが点灯して運転を始めます。

※初期状態では風量「L」で送風を始めます。

### 3.風量を調節する



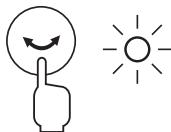
(例)風量「L」設定

風量ボタンに触るたびに風の強さが3段階にかわり、風量に応じた風量ランプが点灯します。

風の強さ L : 弱 M : 中 H : 強

# 使いかた

## 4.首振り運転をする



運転中に首振りボタンに触れると、首振りを開始します。  
もう1度触ると停止します。

## 5.風向きを変える

運転を完全に停止させてから、スタンドを手で押さえ、  
ガードを持って下に動かします。



無理な力で動かさないでください。故障や破損の原因になります。

### 風向きの調整

壁に取り付けて調整してください。

壁に取り付けていない状態では、下に向けても戻ってしまいます。

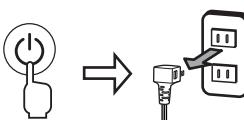
## 6.切タイマー運転をする



運転中に切タイマーボタンに触れるとセットされ、  
触れたたびに設定時間がかわります。  
設定時間が経過すると運転が停止します。  
※時間は1・2・4時間に設定できます。  
※すぐに運転を停止したいときは、電源ボタンに触ってください。  
※設定後も風量や首振りの設定が変えられます。

## 7.運転を終了する

電源ボタンに触れて電源を切り、  
電源プラグをコンセントから抜いてください。



### メモリー機能について

●電源プラグを抜かずに運転する場合は、停止前の設定  
(切タイマーの設定を除く)で運転が始まります。

●電源プラグを抜くと初期状態に戻ります。  
このときに運転を始めると、風量「L」で送風が始まります。

# お手入れ

お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。

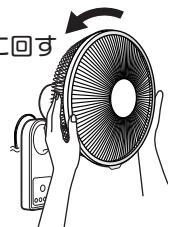
ガードや羽根を取り外してください。

## 【取り外しかた】

①ガード部を左に回して、モーター部から取り外す。

左に回す

②「組み立てかた」と逆の順序でガードや羽根を取り外す。

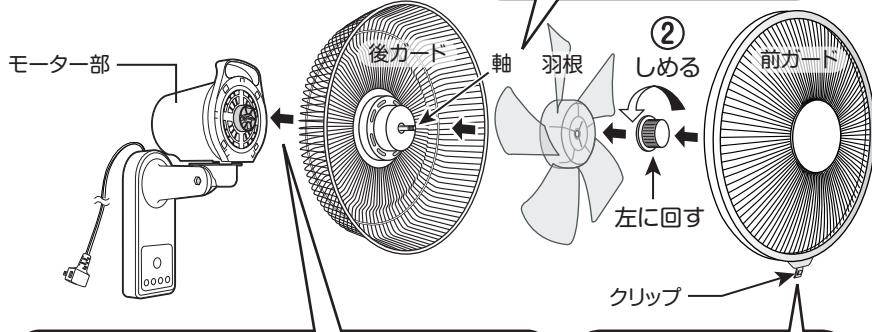


## 【組み立てかた】

番号に従って組み立ててください。

① 軸と取り付け穴を合わせて  
羽根を取り付ける。

取り付け穴



④ ガード部を右に回して、  
モーター部に取り付ける。

右に回す

※ガード部がカチッと固定されるところ  
まで、しっかりと回してください。

※取り付け後、確実に取り付けられて  
いるかを必ず確認ください。

※固定した後のクリップ位置は、どの位置  
でもご使用に支障はありません。  
(ガード部の取り付け方向 → 6ページ参照)

## ⚠ 警告

- 羽根・ガードをつけずに運転しない
- 組み立て時に電源プラグをコンセントに差し込まない  
けがの原因になります。

③ 後ガードに、  
前ガードのツメを掛ける。



上から順に全周はめ込む。



クリップで固定する。



# お手入れ

お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてください。

## <本体・ガード・羽根>

柔らかい布でからぶきしてください。汚れが落ちにくいときは中性洗剤を浸して固く絞った布で汚れを落とし、最後にからぶきしてください。

## <モーター部>

付着したホコリを掃除機などで吸い取ってください。



注意

- シンナー・アルコール・ベンジンなどを使用しないでください。  
変質・変色・劣化などの原因になります。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。
- スプレー(殺虫剤・芳香剤など)をかけないでください。  
変質・変色・劣化などの原因になります。

## <収納>

組み立てたまま保管する場合はポリ袋を本体に被せて、直射日光を避け、湿気の少ない場所に保管してください。本体に重いものをのせたり、狭い場所に無理に押し込むと破損や故障の原因となります。

箱に収納する場合は、ガード部をモーター部から取り外してください。

# 故障かな?と思ったら

下記の表でチェックしてください。直らないときは販売店へ修理をご依頼ください。

| こんなとき       | 処置   |
|-------------|--|
| 運転しない       | <ul style="list-style-type: none"><li>●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。<br/>→しっかりと差し込んでください。</li><li>●ガード部がゆるんでいませんか。<br/>→ガード部が確実に取り付けられていないと運転しません。</li></ul>  |
| 異常な音や振動がある  | <ul style="list-style-type: none"><li>●羽根やガードがゆるんでいませんか。<br/>→確実に取り付けてナットをしめてください。</li><li>●取り付けた壁面や本体が振動していませんか。<br/>→ガタツキがなく強度のある壁面に確実に取り付けてください。</li></ul>  |
| 首振り時に音がする   | <ul style="list-style-type: none"><li>●首振り運転時には「カタカタ」などの音が強まることがあります、首振りモーター特有の音で異常ではありません。</li></ul>  |
| モーター部が異常に熱い | <ul style="list-style-type: none"><li>●ホコリがたまっていますか。<br/>→ホコリを掃除機などで取り除いてください。</li></ul>   |
| リモコンで操作できない | <ul style="list-style-type: none"><li>●電池が消耗していませんか。<br/>→電池を入れかえてください。</li><li>●電池の向きが間違っていますか。<br/>→正しい方向に入れなおしてください。</li><li>●送信部を本体に向けていますか。また障害物などがありますか。<br/>→操作は障害物がないところで約3mの距離、角度は正面から左右約45度までの範囲で可能です。</li></ul> |
| 異臭がする       | <ul style="list-style-type: none"><li>●ただちに電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。</li></ul>  |

# 長期使用製品についてのご注意

長年ご使用の扇風機は、熱、湿気、ホコリなどの影響などにより、内部部品が劣化し、発煙・発火のおそれがあります。ご使用中に次のような症状がみられる場合は、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または本書記載の「山善お客様ご相談窓口」にご相談ください。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- 回転するときに異常な音や振動がする（摩擦音・接触音・打音等がしたり羽根がぶつけて振動しているなどの状況）。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。

## 異常があればご使用中止!!

すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または本書に記載の「山善お客様ご相談窓口」にご相談ください。

## 設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は下記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

|      |              |              |
|------|--------------|--------------|
| 環境条件 | 電 壓          | AC100V       |
|      | 周 波 数        | 50/60Hz      |
|      | 温 度          | 30°C         |
|      | 湿 度          | 65%          |
|      | 設 置          | 本書に基づく組立及び設置 |
| 負荷条件 | 本製品の最大定格での運転 |              |
| 想定時間 | 運 転 時 間      | 8 h/日        |
|      | 運 転 回 数      | 5回/日         |
|      | 運 転 日 数      | 110日/年       |
|      | スイッチ操作回数     | 550回/年       |

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「山善お客様ご相談窓口」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容および期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載いたしております。

# 仕様

---

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 電 源     | AC100V 50/60Hz         |
| 消費 電 力  | 25W                    |
| 本 体 尺 法 | 幅350 × 奥行350 × 高さ480mm |
| 本 体 質 量 | 約2.2kg                 |
| コ ー ド 長 | 1.6m                   |

※製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

# アフターサービスについて

## 製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## 修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認いただき、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をおしつけください。ご自分の分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

## 補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この製品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

### お客様ご相談窓口

TEL 0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。  
受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。  
その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・  
お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

[info\\_a@yamazen.co.jp](mailto:info_a@yamazen.co.jp)

### 個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、商品名・品番をご連絡ください。

M E M O